

ギャラリーあしやシューレでは、2019年9月21日(土)より、「ウィーン世紀末 夢の影 宮崎郁子展」を開催いたします。

宮崎郁子は、エゴン・シーレが描いた人物をもとに、平面作品から立ち上がる視覚的イメージを、独自の色彩と装飾性を加えた立体造形として表現しています。物心ついた10歳の頃から人形を作り始め、その後一貫して「人間の形」を独創的に造形してきた宮崎郁子は、1995年のある日、エゴン・シーレの画集に出会います。エゴン・シーレの世界に自身を投影した宮崎は、考察の対象が「祈り」の存在へと変遷し、その後四半世紀にわたり、エゴン・シーレをオマージュする作品を展開してきました。

エゴン・シーレ没後100年の2018年、シーレゆかりのチェスキー・クルムロフ(チェコ)のEgon Schiele Art Centrumで3カ月間にわたる個展が開催され、作品11点が同館コレクションとなりました。

19世紀末ウィーンを代表する画家グスタフ・クリムトとエゴン・シーレ。装飾的で煌びやかな文化の中に、人間の不安や恐れ、エロスが交錯し、生と死のあわいに垣間見えた「夢の影」、そして困難な問題に直面する現代に生きる私たちの「夢の影」を、エゴン・シーレとその師グスタフ・クリムトへのオマージュ作品を交えて紹介いたします。

是非とも、ご高覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、国立国際美術館(大阪・中之島)では「ウィーン・モダン クリムト、シーレ 世紀末への道」展が8月27日から12月8日まで開催されています。

< 展覧会概要 >

展覧会名	「ウィーン世紀末 夢の影 宮崎郁子」展
会期	2019年9月21日(土)～10月19日(土) 11:00 - 17:00
会場	日・月休廊 入場無料 ギャラリーあしやシューレ 兵庫県芦屋市親王塚町3-11 0797-20-6629

「ウィーン世紀末 夢の影 宮崎郁子展」に寄せて

神奈川県立近代美術館長 水沢 勉

世界没落の実験場——舌鋒鋭い批評家カール・クラウスは、19世紀後半のウィーンをそう呼んだ。

ウィーンは、いまなお一見、夢のような町だ。しかし、その翳りは深く、まるで全体が朽ち果てた黒いシルエットのように感じられる。

ウィーンの世紀末の空気を呼吸した優れた表現者のほとんどがウィーンに愛憎半ばする感情を抱き、しばしばそこから離れていった。

エゴン・シーレもそのひとり。そして、そのシーレのイメージを人形として立体化してきた宮崎郁子も、シーレのボヘミアへの逃避行を100年の時間を隔てて自身の制作のために追体験している。

その小さなピンホールのような行為から、ウィーンが、時空を隔てて、影状に浮かびあがろうとしている。師グスタフ・クリムトとともに、極東の島で。

Artist's statements

宮崎郁子

1995年、阪神淡路大震災で始まり世間を震撼させたオウム事件があった年の秋、私は岡山の書店の画集コーナーでエゴン・シーレ作品に初めて出会った。シーレ作品にすっかり魅了された私は、それ以来、シーレへのオマージュ作品を制作し続けている。

「シーレ没後100年 シーレゆかりの地で個展」という夢は、私の人生の目標となり、昨年その夢は叶った。シーレの母親の出身地チェスキー・クルムロフ(チェコ)にあるエゴン・シーレ アートセンターで私の個展が開催され、私の等身大シーレ人形を使ってオーストリアの映像作家が制作したショートアニメも上映された。そして今、展示された私の作品はエゴン・シーレ アートセンターに所蔵されている。

この度、ギャラリーあしやシューレで「ウィーン世紀末 夢の影 宮崎郁子展」を開催させて頂くことになりました。

シーレ、クリムトが生きた世紀末ウィーンの夢の影。現代に生きる私たちの夢の影と重なり合う。そして私の夢の影。

宮崎 郁子 Ikuko MIYAZAKI

岡山市に生まれる

1974 中国デザイン専門学校 グラフィックデザイン科卒業

2011 岡山市文化奨励賞(芸術部門)受賞

2013 宮崎郁子作品集「樹の瞳」出版
岡山市在住

■主な個展

1988 宮崎郁子布人形展/ギャラリー泉堂, 岡山

1998 エゴン・シーレをつくる/クラフト&ギャラリー幹, 倉敷

1999 シーレの描く女性たち/昔人形青山K1 ドナル, 京都

2000 エゴン・シーレ/せ・ら〜る, 原宿

2003 エゴン・シーレ 三次元の世界へ/スパンアートギャラリー, 銀座 以後'06, '08, '12も個展開催

2009 エゴン・シーレ ぼくは死を愛し,そして生を愛す/岡山県天神山文化プラザ, 岡山

2010 出不精のひとたち/Gallery Schiele, 千倉(千葉) 以後'11も個展開催

2010 エゴン・シーレ Blessig/アートガーデン, 岡山

2014 宮崎郁子の世界/奈義町現代美術館, 奈義(岡山)

2017 ひとがたのエゴン・シーレ/カスヤの森現代美術館, 横須賀

2018 闇に黙せず/瀬戸内市立美術館, 瀬戸内(岡山)

2018-19 Ikuko Miyazaki and her inspiration by Schiele/Egon Schiele Art Centrum, チェスキー・クルムロフ(チェコ)

■主なグループ展

2001 ドールフェア・A Gathering of Excellence/Whotel, ニューヨーク

2010 Decadence Now! /Galerie rudolfinum, プラハ

2012 第九回犬島時間/以後3回出品/犬島の民家, 岡山

2012 ふくやまアートウォーク 2012/ 福寿会館・ふくやま文学館, 福山

2012 岡山芸術回廊[場所と記憶・内山下]/旧内山下小学校, 岡山

2013 アリス幻想奇譚/Bunkamura ギャラリー, 渋谷

2014 オペラ万華鏡/ルネスホール, 岡山

2014 人形偏愛主義/Bunkamura ギャラリー, 渋谷

2016 Doll's Show/ストライプスペース, 六本木

2017 永遠の幻想・美の幻影/ストライプスペース, 六本木

2018 花のことづて-ヨシダ・コウブン、宮崎郁子、檜尾久瑠実/天神山文化プラザ, 岡山

2019 NUDE VERITAS 2019 宮崎郁子×山内若菜/岩崎ミュージアム, 横浜

■パブリックコレクション

Egon Schiele Art Centrum, チェスキー・クルムロフ(チェコ)

On request, the gallery will provide you with detailed information.

Galerie Ashiya Schule ギャラリーあしやシューレ 兵庫県芦屋市親王塚町3-11 〒659-0016

Tel : 0797-20-6629 Mail : info@ashiyaschule.com Website : http://www.ashiyaschule.com